

建設経済委員会 研修報告

平成27年10月5日～7日

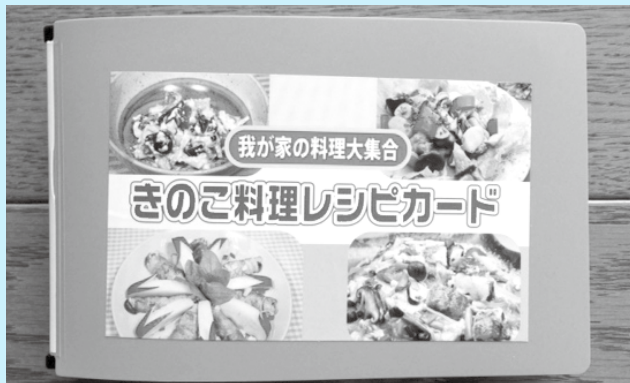
特産品の販路拡大

長野県中野市では農業活性化のために設置された「売れる農業推進室」を訪問した。そこは特産品の販路拡大のため様々な事業を展開していた。市民を対象に特産品料理コンテストを行い、入賞した料理のレシピ集を作成し無料配布。また年2回ギフトカタログを作成し市民へ全戸配布、都市と農村の交流事業などを通して、市民に特産品を認知してもらっている。

ポテンシャルの

高い新幹線駅

長野県飯山市では北陸新幹線飯山駅周辺整備について研修した。駅舎の広場側に整備された飯山駅観光交流センターには、



料理レシピカード
(長野県中野市)

【人口】	
中野市	44,026人
飯山市	22,587人
長野市	376,723人

1階に観光案内所・アクティビティセンター、2階にパノラマテラス等が設置されている。日本政府観光局外国人観光案内所カテゴリー2の認定を受けている利便性の高い観光案内所である。駅の乗降客については、1日500人程度と苦戦していたが、信越9市町村の観光地延べ利用者数は年

間1130万人と観光地としてポテンシャルが高い地域であった。長野市ではプロ野球独立リーグの信濃グランセローズ球団本社を訪ねて研修した。地域貢献に積極的に取り組んでいた。

先進地と学ぶ

ホークスファーム 対策特別委員会 視察研修報告

平成27年10月1日～2日

プロスポーツ チームと連携して 地域活性化

鳴門市は徳島ヴォルティス（J2）のホームタウンとして、地域に根付いたチームを育てていくため支援活動を行っている。

総合計画では、プロスポーツチームとの連携を「なるとの未来を創る3つの成長戦略」の一つとして位置づけている。プロスポーツチームによる集客力や情報発信を活用しながら、観客動員を増やす広報活動支援やホームゲームイベントの共同



鳴門市での研修

【人口】	
鳴門市	60,294人
富田林市	115,034人

開催、選手と市民の交流事業等を行い、地域にぎわいや地域間交流の促進を図っている。

Jリーグとプロ野球というスポーツ分野は異なるが、プロスポーツチームを資源として地域活性化につなげるには市民、企業、チーム、自治体が連携し、それぞれの役割を意識した取り組みが必要であると感じた。

地元のファンを増やすための 地域密着戦略

オリックス・バファローズは、大阪府富田林市と連携を図りながら地域密着戦略を行っている。

年間2試合のファーム公式戦のために球団と自治体がアイデアを出し合い、双方の満足度を高めるために努力しており、その成果は着々と現れてきているように感じた。